

神奈川県内の米軍・自衛隊の最近の動き

15.11.28 檜鼻

◇ 横須賀基地

- 原子力空母ロナルド・レーガン (RR) が GW に交代し、10月2日入港
(1973年以降5隻目) 海自・ヘリ空母「出雲」が先導役で日米一体化をアピール。市民団体「原子力空母の交代を問う市民アクション」のアンケート結果を発表。「交代を知らなかった」が50.1%だった。配備反対は、市外より少なかった。一方、原子力艦の「災害対策(二重基準、原発との違い)の見直しも求められている。
- イージス艦(9隻)から17年度中に12隻へ(ミサイル防衛艦8隻に)前方展開部隊は空母を含め14隻態勢に
6月、巡洋艦チャンセラーズビル配備、市再編交付金29億(1年間)
- 軍港観光化進む。基地との共存策。全駐労組合員増加
- ヘリ空母、「出雲」「加賀」(ヘリ搭載14機)ージャパンマリーンユニテッド横浜事業所磯子工場で造られている。
- 10月18日海自の艦観式で安部首相がR. Rに乗艦、「平和は勝ち取るもの」と言及。

◇ 厚木基地

- 7月30日東京高裁は、①一審の海自の夜間飛行差し止め維持。②艦載機の岩国移駐の概然性は高いと16年末までの将来損害賠償を認めた。③日本政府に管理権があるにもかかわらず、米軍機の飛行差し止めは却下。原告約6900人、賠償額94億円(12億将来分)
※安保条約のもとでの司法救済はない。
- 普天間基地に配備されているMV22オスプレイ、岩国基地からの飛行が常態化。8月23日、陸上自衛隊東富士演習場で行われた「富士総合火力演習」でデモ飛行したが、離着陸しなかった。オスプレイは厚木基地で離発着訓練を繰り返す。草地、砂地での訓練は出来ないことの証拠
- 本村賢太郎衆議院(民主)の質問主意書で、「移駐時期について確たることは申し上げるのは困難」との政府答弁書
- オスプレイの整備は、富士重工(株)が陸自木更津駐屯地格納庫で実施。

◇ 米陸軍相模総合補給廠 ※キャンプヘンリー(大邸)第403陸軍野戦支援旅団

8月24日未明、倉庫が爆発、ボンベ散乱。1965年「消防相互援助条約」に基づき、ポンプ車、化学車14台と約51名が出動するも放水見合わせ。原因究明への合同立ち入り調査は1回のみ。その後の情報はなく、調査結果も未だなし。

* 立ちはだかる日米地位協定の壁

- 一部返還地(17ヘクタール)、共同使用地(35ヘクタール)の土壤汚染の懸念
- 倉庫の新設、改修工事により施設の恒久化へ。戦術機器保守施設の建設計画等
- 任務訓練複合施設が稼働しているが運用の中身が不明状態である。

◇ キャンプ座間

- 基地内ヘリポートに厚木基地及び空母に所属するヘリが離発着訓練を繰り返す。
- 2013年3月朝霞駐屯地から移駐してきた陸上中央即応集団司令部(CRF)改編により、2017年度目途に廃止。朝霞に陸上総隊を新編に編入する。